

## 9/24 幸地壕視察



発見された遺骨

壕から他に5本の万年筆が回収されました。当時、万年筆は高級で所持できる人が限られていること、嘉手納に本店のあった渡口万年筆店のものが含まれていること、駐屯していた部隊は第11中隊であること、万年筆の1本に「堀本繁勝」との刻銘があるなど、身元確認につながる有力な情報と資料があります。

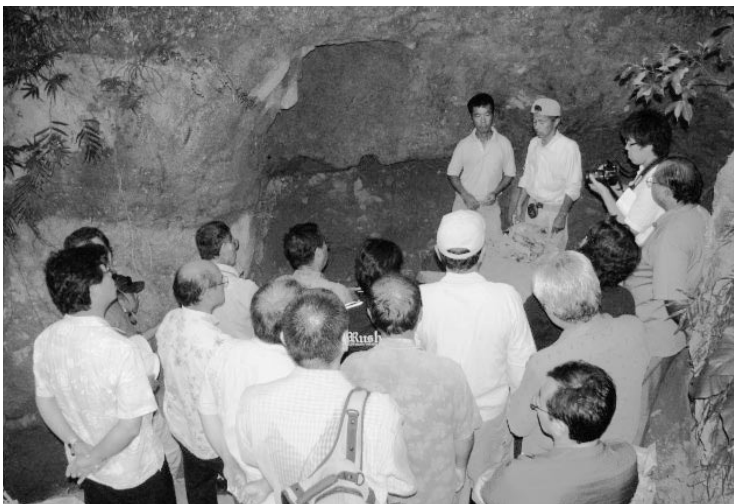
遺族の元に帰ることを切に願っています。

9月定例議会最終日の24日、私たち西原町議会は、日本兵5人の遺骨が発見された字幸地内の壕を視察しました。

現場では、沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」の具志堅隆松代表、地主の高江洲さんから案内説明を受けました。重なり合うようにうつ伏せに並んだ遺骨…腕が骨折、骨に突き刺さった砲弾片、頭部が吹き飛んだ無残な姿…戦争の悲惨さ、酷さを物語る衝撃的な光景でした。



回収された万年筆



説明を受ける町議会

物言わぬ遺骨、しかし私たちは「沖縄戦の悲劇を二度と繰り返してはならない!」と、決意させられました。

遺骨が目の目を見たことに、何よりも遺族の元に帰る機会を与えて下さった具志堅代表に心から感謝します。戦争の真実を知る数少ない場所、「平和教育のために何ができるのか」、議会も行政と共に取り組んでいきます。